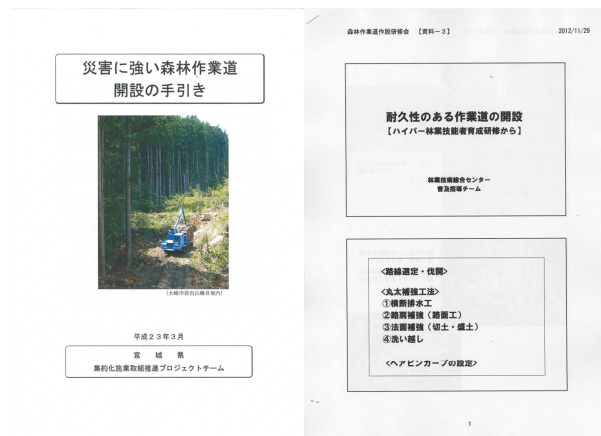


仙台森林管理署	
タイトル	森林作業道作設研修会
実施年月日	平成24年11月29日(木)、12月3日(月)～8日(土)
実施場所	宮城県黒川郡大衡村 宮城県森林組合連合会大衡総合センターほか
参加者	局署：仙台森林管理署、宮城北部森林管理署 6名 外部：宮城南部／北部流域森林・林業活性化センター会員、 (独)森林総合研究所森林農地整備センター東北北海道整備局、 宮城県農林水産部林業振興課、宮城県林業技術総合センター、 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所、宮城県林業公社、 大崎市、加美町、色麻町、宮城県森林組合連合会、 東和町森林組合、仙南中央森林組合、川崎町森林組合、 南三陸町森林組合、黒川森林組合、白石蔵王森林組合、 石巻地区森林組合、津山町森林組合、栗駒高原森林組合、 宮城中央森林組合、署管内林業事業体等 50名 計 56名
<p>【取組の目的・概要】 宮城県内における低コスト林業を目的とした森林作業道について、「宮城県森林作業道実施基準」及び「宮城県森林作業道作設指針」を中心に室内研修を実施するとともに、現場に携わる担当者（建設機械オペレーター）に実技等の技能習得の現地研修を実施した。</p>	
<p>【取組の成果】 11月29日に室内研修として、宮城県森林組合連合会大衡総合センターにおいて、宮城県内林業関係団体及び関係者ら約50名が参加した。 講師の宮城県林業技術総合センター 皆川技術次長から、「宮城県森林作業道実施基準」及び「宮城県森林作業道作設指針」についての解説と「災害に強い作業道開設の手引き」により作設における留意点等の説明を受けた。 また、具体的に「森林・林業の再生に向けた改革の姿」、「路網開設のポイント」、「損壊事例の検討と検証」、「耐久性のある作業道の開設」について具体的な講義を受けた。 12月3日～8日に現地研修として、車両系建設機械運転技能講習修了者及び地山の掘削作業主任者技能講習修了者等の有資格者で、現在、現場で作業する者を中心とした6名が参加して、実際に森林作業道の路線を選定、自らが建設機械を運転して森林作業道の作設を体験した。作業道作設における注意点や疑問点などについて、講師の指導を受けながらの実践的な研修となった。</p>	
<p>【出された意見】 民有林の森林作業道における補助事業等の具体的な取り組みについての意見があったが、今後はこの森林作業道の基準及び指針が基本的な考え方として対応することになる。</p>	
<p>【今後の課題】 新基準による森林作業道作設の普及については、受講者が十分に認識して積極的に取り組むことが重要である。 今後、民有林における補助事業においても本基準及び指針による森林作業道の作設が不可欠なものであることから、民有林においては特に必要なものである。 低コスト林業の実現については、民有林・国有林が一体となった路網の整備や森林施業が重要な課題である。</p>	

タイトル 森林作業道作設研修会



会長挨拶



関係資料



室内研修（講義）



現地研修（作業道作設）